

もも・ネクタリン特報

H28. 4. 8 No. 2

J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

4月初旬の高温によって生育がかなり進み、開花は平岡地区の白鳳で4月15日前後と予想されます。生育状況をよく確認し、適期防除と管理作業を進めましょう。また、せん孔細菌病の発生する園地では、予防散布と春型枝病斑の除去を徹底しましょう。

【生育状況】 白鳳 平岡調査地点

発芽 3/30 (昨年3/31、平年4/1) *日野地区 発芽 3/28

【過去の開化状況】 白鳳 平岡調査地点(平年4/22)

年度	平年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
開花	4/22	4/17	4/20	4/13	4/23	4/28	4/26	4/18	4/23	4/18	4/15?

*凍霜害対策に万全を期すとともに、結実確保のため花粉のない品種(川中島白桃等)においては、人工受粉を必ず実施しましょう。



1. 開花始めの散布 (せん孔細菌病予防散布)

◎薬液が枝にしっかりかかるよう、丁寧に散布しましょう。

*収穫中の作物等へ飛散しないよう、十分注意する

*隣接地がアスパラガスの場合は、事前に園主へ連絡する

*隣接地への農薬汚れが心配される場合は、ボルドー液に代えて、コサイド3000の1,000倍を散布してもよい

もも

散布時期：開花始め(1～2輪咲きの頃が目安)

散布薬剤 水 100ℓ
4-12式ボルドー液 生石灰 1200g
硫酸銅 400g
展着剤 10ml

対象病害虫：せん孔細菌病

10a 当り散布量：350ℓ

散布日	4月	日
散布量		ℓ

【注意事項】

①4-12式ボルドー液に代えて、icボルドー412の30倍(水100ℓに3.3kg)を使用してもよい。

②せん孔細菌病の発生園は、展着剤にKKステッカー3,000倍(固着性展着剤)を使用する。尚、KKステッカーは調合液を攪拌させながら、最後に混用する。

*KKステッカーに代えて、アビオンEの1,000倍でもよい。

ネクタリン

散布時期：開花始め(1～2輪咲きの頃が目安)

散布薬剤 水 100ℓ
icボルドー412 3.3kg

対象病害虫：せん孔細菌病

10a 当り散布量：350ℓ

散布日	4月	日
散布量		ℓ

【注意事項】

①せん孔細菌病の発生園は、展着剤にKKステッカー3,000倍(固着性展着剤)を使用する。尚、KKステッカーは調合液を攪拌させながら、最後に加用する。

*KKステッカーに代えて、アビオンEの1,000倍でもよい。

裏面もご覧ください

2. せん孔細菌病対策

薬剤による防除だけでなく、春型枝病斑切除・防風対策を中心とした耕種的防除を実施しましょう。

- (1) 春型枝病斑（開花期より出現）の切除と園外への搬出（この病斑から繁殖した細菌が風雨によって、葉・果実へ感染する）
* 枯れている枝は見つけ次第、切除しましょう。
- (2) 風当たりの強い園で発病しやすいので、防風ネットを設置する。
- (3) 排水性の悪い園や弱・強樹勢樹に多発するので、排水対策などの園内環境整備や樹勢適正化につとめる。

3. 今後の栽培管理

最重点作業は摘蕾・摘花の実施です。大玉良品生産のためにも、結実の良い品種は実施しましょう。

- (1) 摘蕾・摘花：摘蕾作業は、蕾の先端がピンク色になるまでふくらんだ頃が最も作業効率が良いです。
遅れた場合は落花期までに花摘みを行ないましょう。
- (2) 人工受粉：花粉が少ない品種や全くない品種では、必ず人工受粉を行なってください。あらかじめ開葯し採取した花粉で受粉することが最良ですが、受粉樹（花粉の多い品種）で開花している花の花粉を毛バタキ・綿棒につけて受粉（相互交配）するのも効果があります。

もも貯蔵花粉の受付

もも・ネクタリンは天候状態により開花・満開が極端に進み、当用花粉では間に合わない場合や凍害に遭遇した時に花粉のある品種でも人工受粉が必要となる可能性がありますので、桃花粉の貯蔵をおすすめします。

- 共同開葯所（ぶどうセンター内）では、次年度に使用するための貯蔵花粉の受付を行います。
- 花の持ち込みの際に貯蔵花粉と明記し、各支部の指示に従い搬入してください。
- 採取する花は、白鳳・あかつき・なつっこ・山根白桃・白根白桃など花粉の多い品種とする。

摘蕾・摘花の実施

生育の早い年ほど小玉傾向になりやすいため、間に合い次第、着果管理を進めましょう！

◎着果管理の流れ

- (1) 花粉のある品種の場合：摘蕾・摘花 ⇒ 予備摘果 ⇒ 仕上げ摘果 ⇒ 被袋時の見直し
- (2) 花粉のない品種の場合：予備摘果 ⇒ 仕上げ摘果 ⇒ 被袋時の見直し
（花粉のない品種でも場所により結実が良好な場合は（1）に準ずる）

* 花粉のある品種は早く摘果をすすめ良い幼果をつくとともに樹勢を保つ。
花粉のない品種は結実を確認し変形のない肥大の良い果実を残す。

* 白鳳系・あかつき・赤宝・山根白桃・なつっこ・白根白桃などは摘蕾する。川中島白桃などは、受粉樹など着果条件から摘蕾を軽くするか、しないかを判断する。

* ファンタジア・秀峰などのネクタリンは、花芽が少なく果実が不揃いとなりがちなので摘蕾は控える。

◎摘蕾の方法

- (1) 主枝・亜主枝・側枝など伸ばす枝の延長枝はすべて摘蕾し、垂れないよう強く保つ。
- (2) 上向きの蕾を除く。横向きは残す。
- (3) さらに長果枝（30～50cm）の根元の3分の1、中果枝（15～30cm）の先端部以外は除く。
短果枝は4～5短枝当り1芽残す。

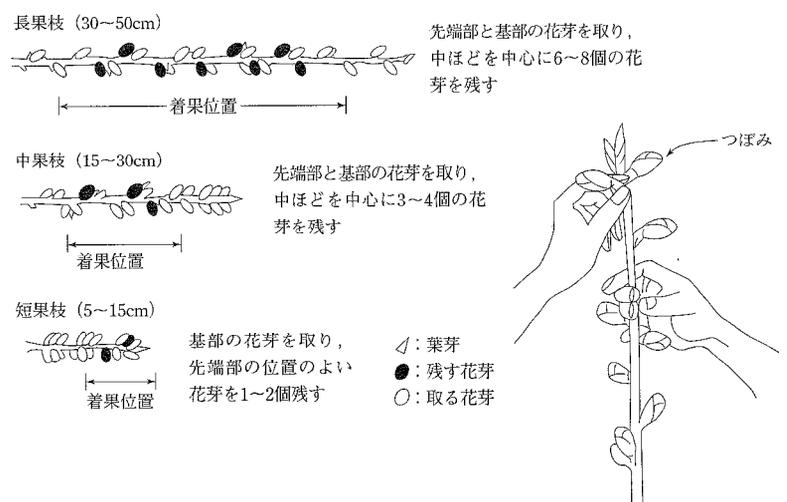


図1-10 摘蕾の方法